

新潟県

教育月報 5月号

第876号

令和5年5月1日発行

編集人、発行人

新潟県教育委員会

<今月号の記事>

	対象校種
1：教育ニュースライン	P 1 全種
2：研修履歴の記録を活用した対話に基づく受講奨励について	P 2-3 全種
3：実践力向上研修、要請訪問研修、相談支援について	P 4-6 全種
4：地域との連携・協働等を推進する研修会	P 7 全種
5：メディア研修会の紹介	P 8 全種
6：インフォメーション	P 9-10 全種

教育ニュースライン

県教育に関する最新ニュースをお知らせします。

新潟全県教育長会議及び県立学校長会議を開催しました

県教育委員会では、4月14日(金)に全県教育長会議、同21日(金)に県立学校長会議を開催しました。

全県教育長会議では、県下における教育行政の円滑かつ効果的な実施のため、市町村との連携・協力を図ることを目的とし、今年度の県教育委員会における施策の要点を説明しました。その後、情報交換会を行い、「インクルーシブ教育の推進に向けた体制の整備」及び「アントレプレナーシップ教育の推進」について、各市町村の取組状況や課題を共有しました。年度当初に県と市町村が集う場として有意義なものとなりました。

また、県立学校長会議については、県教

育委員会における所要事項を周知することを目的とし、オンラインにより県立学校長へ今年度の施策について共有しました。

両会議では、教育長からのメッセージにおいて、「不確実性の時代において、大切なことは『学び方を学ぶ』こと」とし、本県教育の基本理念である『一人一人を伸ばす教育』の実現に向けて、市町村教育委員会に対しては「情報交換と連携を図りながら各種施策に取り組んでまいりたい」旨、また、県立学校長に対しては「教職員との信頼関係を構築しながら、一体となってよりよい学校づくりに邁進していただき」旨をお伝えしました。



【4月14日(金)全県教育長会議の様子】



【4月21日(金)県立学校長会議の様子】

研修履歴の記録を活用した対話に基づく受講奨励 について

総務課、義務教育課、高等学校教育課

はじめに

免許更新制度が発展的解消となり、令和5年4月から、新たな研修制度として、自主的に学び続ける仕組みが導入されました。新たな研修制度の骨子は「研修履歴の記録とその記録を活用した学校管理職等との対話に基づく受講奨励」です。本年3月には、研修履歴の記録を活用して、校長等が各校の教職員に対して行う受講奨励の考え方や方法等について整理した手引きをお送りしたところです。

研修履歴の記録とは

研修履歴の記録は、対話に基づく受講奨励に活用されることが基本です。その中で教職員自らが学びの成果を振り返り、自らの成長実感を得ることを期待しています。

対話に基づく受講奨励とは

対話に基づく受講奨励は、教職員と学校管理職等とが対話をとおして行います。学校管理職が教職員一人一人に対して「今後どの分野の学びを深めるべきか」、「学校で果たすべき役割に応じてどのような学びが必要か」などについて指導助言することで、対話の中から各教職員は自身の強みや専門性を振り返るとともに、教職員としての資質・能力をさらに伸ばす方向性を考えるきっかけを得ることを期待しています。

対象となる教職員の範囲

対象となる公立学校等の校長及び教員の範囲は以下のとおりです。

「公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、幼稚園及び幼保連携型認定こども園」の「校長（園長を含む。）、副校長（副園長を含む。）、教頭、主幹教諭（幼保連携型認定こども園の主幹養護

教諭及び主幹栄養教諭を含む。）、指導教諭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、主幹保育教諭、指導保育教諭、保育教諭、助保育教諭及び講師（教育公務員特例法施行令（昭和24年政令第6号）第2条に規定する臨時的に任用された者等を除く。）」

※臨時的任用職員等は、研修履歴の記録は不要ですが対話に基づく受講奨励は可能です。

研修履歴の記録範囲

記録の対象とする研修等は、次に示す①から⑥です。なお、どの場合にも、情報伝達や説明会に留まるものは記録の対象とはなりません。

- ① 研修実施者が実施する研修（県立教育センター等が主催する研修のほか、各教育事務所や県教育委員会事務局各課が主催する研修等）
- ② 大学院修学休業により履修した大学院の課程等
- ③ 県教育委員会が開設した免許法認定講習及び認定通信教育による単位の修得
- ④ 市町村教育委員会や大学等が実施する研修等（職務研修（職専免研修含む。）として行われる研修等）
- ⑤ 校内研修・研究等
- ⑥ 教職員が自主的に参加する研修等（校長が資質向上に資すると認める研修等について、教職員が選択的に記録をする。）

研修履歴の記録方法

教職員自らが研修履歴記録シートに入力します。

また、令和5年4月1日以降の研修が記録対象となります。

※国の研修受講履歴記録システムは令和6年度から稼働する予定のため、今後、県教育委員会が、システムを利用する場合には記録する内容も変更する可能性があります。

対話に基づく受講奨励の方法・時期

実施時期については、人事評価制度との趣旨の違いに留意したうえで、教職員の負担軽減等の観点から、人事評価に関わる期首面談や期末面談の機会を活用することが望まれます。

期首面談の際に、学校管理職等は、教職員に対して①育成指標や教員研修計画、教職員個人の職責・経験・適性に照らした人材育成の観点や②学校が目指す教育を進めるために必要な専門性・能力確保の観点などから、情報提供や指導助言を行います。また、対話に基づく受講奨励を受ける教職員は、①自らの専門職性を高めるための主体的な学びのマネジメントの観点や、②学校を支える力を獲得・強化する観点からの自らの職能開発等を踏まえて、研修計画に関する目標設定を行います。

期末面談の場においては、学校管理職等と教職員が、成長段階に応じて指標に定められた資質能力が、どれくらい身に付けられているかを確認・共有し、次年度以降の職能開発の目標の話合いなどを行います。

職や教科の専門性に応じた受講奨励

養護教諭や栄養教諭など、校内に一人または少数しか配置されない教職員については、その職特有の専門性に通じた学校管理職等が校内にいない場合が想定されます。域内の複数校によるネットワークを構築するなどして、同職種

の教職員間でのノウハウの伝承や学び合いを積極的に取り入れることにより、該当専門性に係る資質の向上を図ることが有効です。また、その職特有の専門性にのみ過度に偏重することなく、校内の異職種の教職員間での学び合い等も積極的に進めてください。

おわりに

「新たな教職員の学びの姿」が、変化の激しい今日にあって、教職員が探究心を持ちつつ自律的に学ぶこと、主体的に学びをマネジメントしていくことが前提であることを踏まえ、対話に基づく受講奨励が、教職員の意欲・主体性と調和したものとなるよう、一人一人の教職員の意向を十分にくみ取って行われるよう御配慮願います。研修履歴の記録により、児童生徒の教育に差し支えが生じることは本末転倒です。研修履歴の記録や指導助言自体が過剰な負担となることがないように適切な運用をお願いします。

[お問い合わせ先]

総務課企画係

TEL：025-280-5587

義務教育課指導第1係

TEL：025-280-5604

高等学校教育課指導第1係

TEL：025-280-5611

【関連情報】

■ 「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励等の実施について（通知）」

（市町村教育委員会教育長宛）

令和5年3月23日付け教総第788号教育長通知

（県立学校長・県立幼稚園長宛）

令和5年3月23日付け教総第788号の2教育長通知

■ ○受講奨励に関する関連情報は、下記に掲示

（市町村立学校）新潟県教育支援システム（T e a R o o m）に掲載

（県立学校）統合型校務支援システムのキャビネットに掲載

「トップページ」→「キャビネット」→「各種資料・マニュアル」→「研修」

→「○研修履歴・受講奨励等」

～掲載情報～

<受講奨励関係>

・研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励等の手引き

・研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励等の手引き【概要版】

<研修履歴記録シート関係>

・研修履歴記録シート（教諭用・管理職用）

・研修履歴記録シート記入要領

実践力向上研修、要請訪問研修、相談支援について

県立教育センター

はじめに

県立教育センターでは、基本研修や専門研修のほかに、実践力向上研修、要請訪問研修、相談支援をおこなっています。

本号では、それぞれの研修の概要と令和4年度の各研修・支援の実施状況を紹介します。

実践力向上研修

1 概要

実践力向上研修は、各学校の実践的な指導力向上のため、学校・園の要望に応じて指導主事を当該校・園に派遣し、授業実践をもとにした校・園内の研修を支援するものです。指導主事の派遣に係る旅費は当センターが負担します。なお、希望に応じオンラインでの研修も可能です。

「教科指導」「特別支援教育」「教育相談」等に関して学校・園が課題とすることや深めたいテーマについて講義、指導助言等を行い、指導力を高めます。

申込み方法等については、当センターWebサイト「各種支援活動」のページを御覧いただくか、当センター教育研究班(025-263-9028)にお問い合わせください。

今回はコロナ禍もあり、授業実践を伴わない事例もありますが、令和4年度に実施した実践力向上研修を紹介します。

2 幼稚園（保育）

(1) 受講者 五泉市立第一幼稚園職員

(2) 研修内容

5歳児いるか組の公開保育を参観し、その後、研究主題「人とのかかわりを喜び、楽しく遊ぶ子ども～異年齢や身近な人と

のかかわりを通して～」に沿って、協議を行いました。子どもたち同士や子どもと教師とのかかわり、一人ひとりの成長等について職員が語り合いました。また、保育環境の構成と援助の有効性、異年齢交流の在り方等について知見を深めました。

協議後、「異年齢交流の可能性」、「幼小接続に向けた取組」等について指導主事から指導助言を行いました。

(3) 受講者の感想

- ・子どもたちとのかかわりの中で、(少人数だからこそ)多様な価値を子どもたちと一緒に生み出していくことが必要だと改めて学ぶことができました。
- ・今回は、運動会前のリレーが中心でしたが、他の場面や行事でも、子どもたちをどのように異年齢でかかわらせていくのか、さらに研修を深めたいと思いました。



3 小学校（学級経営）

(1) 受講者 上越市立斐太北小学校職員

(2) 研修内容

校内研修で授業力向上の土台となる学級経営の理論を学びたいという要望を受けて、講義を行いました。

講義後の演習では、学年部ごとのグループに分かれて、目指す学級の姿と現状のギャップから具体的な手立てについて話し合い、明日から活用できる実践的な研修を行いました。

(3) 受講者の感想

- ・現場のニーズにあった研修を行っていただくことができ、たいへんありがたか

ったです。

- 子どもを理解するために3つのみる(視る、診る、看る)があるという話が印象に残りました。特に看るの視点は今まであまり意識していなかったのが大切にしていきたくと思いました。
- 「ルール確立」の次に「感情交流」をする事など、これまで順番を意識せず何となくやっていたところを理論的にお話いただき大変勉強になりました。

「学級経営力」は、どこで学ぶのだろうか？

「エビデンスのない」経験論 学ぶ場の差(運?) 個人?組織?

学級経営は独学です。 これまでの経験から。 一緒に動めた先輩を見て。 大学や研究会等。

「見えにくいけれど必要な力=学級経営力」

「学級は児童生徒にとって学習や学校生活の基盤であり、学級担任の教師の営みは重要である。」

学習指導要領 特別活動 第4節

確かな児童生徒理解 支持的な学級風土への変換

学級経営と学習指導、生徒指導のとらえ

学習指導と生徒指導は「両輪」

自転車の前後の直車で考えると...

学習指導 学級経営 生徒指導

生徒指導が小さいとペダル(駆動力)は重い → 学級や授業に支障

学習指導が小さいとペダルは軽いが進まない → 学級や授業にストレス

学習指導と生徒指導を「バランス良くつなぐ」学級経営の役割と方策をあらためて考えてみよう

【講義のスライド資料】

4 中学校（キャリア教育）

- (1) 受講者 三条市立第三中学校
- (2) 研修内容

キャリア教育を中核とした、学校教育の充実を図るための研修を行いました。研修の一つ目は、キャリア教育の概要について確認することをねらいとした講義を行いました。研修の二つ目は、講義をもとに現在のキャリア教育の指導計画を見直し、目標を再確認したり、活動の見直しをしたりする演習を行いました。

(3) 受講者の感想

- 職員全体で基本的な事項を学ぶ機会がこれまでありませんでしたので、大変有意

義な研修となりました。

- まずは、基礎的・汎用的能力を意識すること、そこから皆さんと進めていきたいと思えます。
- 講義や演習がきっかけとなり、職員同士で学年の行事について話したり、キャリアパスポートのたたき台案が出されたりして、よかったです。個人が思っているキャリア教育のアイデアを、校内で出しやすい雰囲気になったのだと思えます。



【演習：自校の教育活動を見直すためにグループで話し合う様子】

5 高等学校（総合的な探究の時間）

- (1) 受講者 県立高田高等学校職員
- (2) 研修内容

グラフの活用、アンケートデータの分析(外れ値の処理、クロス集計、カイ二乗検定、テキストマイニング)について講義・演習を行いました。

(3) 受講者の感想

- 統計の手法を学ぶきっかけがほしいと思っていたので、有益な時間になりました。探究の指導もそうですが、自身の授業実践の効果分析にも少しずつ今日学んだポイントをいかしていけたらと思います。
- これまでハウツー本でやり方を学んでいました。しかし、やり方だけでした。本日はデータ分析作業の目的や意味するところを教えていただき、興味がさらに湧きました。
- テキストマイニング、ピボットテーブル

ルなどいいなと思った機能を業務の中に取り入れることが次のステップだと思います。いい機能があるということを知っているだけでなく、実際に便利なものを駆使して、その恩恵を受けられるようになりたいと思います。

要請訪問研修

学校・園及び教育機関の要請に応じて指導主事が現場を訪問し、研修会の講師や研究協議会の委員等として指導助言を行います。対象分野は特に定めず、依頼先の要請に幅広く対応しています。

【対象】 県立学校、市町村立学校・園（新潟市立の学校・園は除く）、市町村教育委員会、教育関係研究会等の要請による教職員の研修等

【内容】 各教科・領域等に関わる全般

※ 幼児児童生徒を対象とする授業等は対象に含みません。

【時期】 随時

【申込】 電話で県立教育センター教育支援課長に依頼後、県立教育センター所長宛に派遣依頼文書を提出する。

【電話】 025-263-9033

【経費】 派遣する指導主事の旅費は要請団体の負担となります。

相談支援

いじめ・不登校、生徒指導上の問題や、特別支援教育、心身の健康教育等、教育上の様々な悩みごとについて、電話や来所、出前教育相談の形態で相談支援を行っています。

【対象】 幼児、小学生、中学生、高校生及びその保護者や学校・園の教職員等

【日時】 月曜日から金曜日（祝日、年末年始、お盆の時期を除く）の午前9時から午後5時

1 いじめ・不登校等教育相談

○いじめ・不登校等悩み事相談テレフォン（電話のみ）

いじめ、不登校等に関する悩み

【電話】 025-263-4737

【受付】 午前9時10分～午後4時

○教育相談

幼児児童生徒の教育上の様々な悩み

【電話】 025-261-0410（本人、保護者）
025-263-9029（教職員）

2 特別支援教育相談

特別支援教育に関わる様々な悩み

【電話】 025-263-9030

3 心身の健康教育相談

○ほけんしつハートダイヤル

（電話のみ）

心身の健康問題に関する悩み、保健室執務、健康教育に関する支援や情報提供

【電話】 025-263-9032（教職員）

※ 来所相談は、事前の予約が必要です。相談したい分野の電話番号におかけください。平日に来所できない学校・園の教職員は要相談。

※ 出前教育相談（教職員対象）は、事前の予約が必要です。相談希望日の2週間前を目安に、相談したい分野の電話番号におかけください。

※ 県立教育センターWebページ「各種支援活動」を参照してください。

(<https://www.nipec.nein.ed.jp>)

おわりに

各学校・園が教育目標を具現化するためには、自校の教育課題を明確化し、課題解決に向けて組織として取り組むことが大切です。県立教育センターは、今後も、学校・園の希望を踏まえ、各校の実情に応じて校内研修を支援します。

県立教育センターの研修支援と相談支援を是非御活用ください。

新潟県立教育センター
教育支援課 教育企画班
TEL：025-263-9014

地域との連携・協働等を推進する研修会

県立生涯学習推進センター

はじめに

当センターでは、地域と学校の連携・協働を推進するために、様々な学習機会の提供や紹介を行っています。学校職員の皆様には、以下の研修会に御参加いただき、教育活動の充実や地域連携、協働に役立ててください。

地域と学校をつなぐコーディネーター等研修講座

昨年度は「地域連携コーディネーター等研修会」として実施していましたが、今年度からは「地域と学校をつなぐコーディネーター等研修講座」として、第1回から第3回の研修を、第1回基礎編、第2回充実編、第3回発展編とし、受講者の皆様が自らの課題に即して取り組めるようにしました。なお、第3回は「新潟県コミュニティ・スクール研修会」と同時開催となります。

本研修会は、コミュニティ・スクールの趣旨や取組等について、実践紹介や情報交換を通して学び合い、制度の周知と理解を深め、導入市町村・学校の取組の一層の充実と未導入市町村・学校の導入の促進を図ります。

参加対象は、学校教職員、行政職員、地域コーディネーターとして御活躍されている方などが対象です。多くの参加をお待ちしております。

●第1回 6月14日(水) (オンライン研修)

●第2回

7月20日(木) (県立生涯学習推進センター)

7月21日(金) (小千谷市総合福祉センター「サンラックおぢや」)

●第3回 10月5日(木) (オンライン研修)

地域連携研修会

学校と地域の連携・協働の意義、地域連携担当教職員の役割や活動のポイントを学び、学校と地域をつなぐキーパーソンとしての資質・能力の向上を図ります。コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進や地域連携を進める教職員としての役割を講義や演習から学びます。

参加対象は、地域連携担当職員の校務分掌を初めて経験する教員(原則参加)、参加を希望する教職員です。

●5月31日(水) (オンライン研修)

コミュニティ・スクール研修会

コミュニティ・スクールの趣旨や取組等について、導入市町村の実践紹介や情報交換を通して学び合い、制度の周知と理解を深め、取組の一層の充実と未導入市町村の導入の促進を図ります。参加対象は、教職員、自治体等の担当者、学校運営協議会関係者です。

●10月5日(木) (オンライン研修)

地域とともにある学校づくり研修会

地域とともにある学校づくりに向け、地域との連携・協働を確かなものとする「社会に開かれた教育課程」実現に向けた学校経営について学び、管理職や行政担当者としてのリーダーシップとマネジメント力の向上を図ります。

参加対象は、教職員(主に管理職。新任校長は原則参加)、行政担当者です。

●7月4日(火) (オンライン研修)

おわりに

地域との連携・協働等に関する御相談や情報提供、研修会講師の紹介なども行っています。いつでもお気軽にお問い合わせください。

県立生涯学習推進センター
TEL: 025-284-6110 (代表)



ホームページ
「ラ・ラ・ネット」

メディア研修会の紹介

県立生涯学習推進センター

はじめに

生涯学習推進センターでは、情報化の進展や新潟県の広域性に対応した生涯学習の推進を目指し、ICTを活用して県民の生涯学習活動を支援する担当者・指導者の育成を目的に、令和5年度メディア研修会を実施します。

メディア研修会について

1 概要

(1) 参加対象者

学校関係職員、生涯学習関係職員

(2) 研修内容・予定等

① ドローンによる動画撮影研修

- ・ 5月10日（水）と5月17日（水）
- ・ 10月4日（水）と10月11日（水）

② Web会議システム研修

- ・ 6月9日（金） ・ 6月20日（火）
- ・ 9月6日（水） ・ 9月13日（水）

③ 情報モラル指導者研修

- ・ 6月2日（金）と9月22日（金）

④ PowerPointによる動画作成研修

- ・ 7月5日（水） ・ 7月11日（火）
- ・ 10月18日（水） ・ 10月26日（木）

⑤ iMovieによる動画作成研修

- ・ 7月27日（木） ・ 8月2日（水）
- ・ 11月28日（火） ・ 12月1日（金）

⑥ 特別講演会

「これからの視聴覚教育～オンライン講座に必要な権利の知識～（仮）」

- ・ 講師：坂井知志様（岐阜女子大学特別客員教授）
- ・ 11月1日（水）

(3) 申し込み方法

センターHP「ラ・ラ・ネット」の専用フォームから申し込みできます。各研修会の日程や

会場等については、HPをご覧ください。

2 Web会議システム研修について

令和2年度からスタートしたWeb会議システム研修も4年目を迎え、好評をいただいております。はじめてZoomを利用する受講者向けの内容ですので、応用的な相談（オンライン研修会の運営方法、オーディオインターフェイスを利用した広い会場での音響トラブル回避のコツ等）については、随時技術支援を行っておりますので、お問い合わせください。

3 情報モラル指導者研修について

昨年度に引き続き、講師に大久保真紀様（インターネット協会）をお招きして、2回の連続講座で実施します。ICT環境が一気に加速した現在、情報モラル教育が喫緊の課題とされています。最新の情報を得られるだけでなく、学校・家庭・地域が連携して進める手立てについて学びを深めることができます。参加形態についてはオンラインでも可能です。

4 動画作成に係る研修について

iMovieやPowerPointで動画を作成する実技研修を実施します。受講者が持参した画像を素材にして、素敵な動画を作成します。著作権に配慮した音楽の挿入方法についても学べます。また、ドローンによる動画撮影研修を新設しました。阿賀野川床固め公園を会場に、2回の連続講座で実施します。ドローンを持っていない方には、貸し出すこともできます。

おわりに

メディア研修会に関する相談を随時受け付けております。お気軽にお問合せください。

県立生涯学習推進センター 学習情報課
TEL：025-284-6110（代表）

インフォメーション

●県立万代島美術館(新潟市)

■企画展「原田治 展「かわいい」の発見」

原田治の没後初の全国巡回展。時代を超えて愛される原田治の全貌に迫ります。

- 会 期 開催中～5月7日(日)
- 休 館 日 月曜日※5月1日は開館
- 開館時間 午前10時～午後6時
(観覧券の販売は午後5時30分まで)
- 観 覧 料 一般1,200円(1,000円)
高校・大学生900円(700円)
中学生以下無料

■企画展「糸で描く物語 刺繍と、絵と、ファッションと。」



《ダッフル製壁掛け〈夏の生活、冬の生活〉》
北海道立北方民族博物館蔵

手で一針一針、縫い進めていく「刺繍」。中・東欧の民俗衣装、イヌイットの壁掛け、現代の絵本原画やイラストレーション、フランスのオートクチュール刺繍など、さまざまな分野の作品を通して、時代や地域を越えて、今なお私たちの心を捉える刺繍の魅力を探ります。

- 会 期 5月20日(土)～7月17日(月祝)
- 休 館 日 5月29日(月)、6月12日(月)、6月26日(月)、7月10日(月)
- 開館時間 午前10時～午後6時
(観覧券の販売は午後5時30分まで)
- 観 覧 料 一般1,400円(1,200円)
高校・大学生1,100円(900円)
中学生以下無料

※()内は有料20名以上の団体料金です。
※障害者手帳をお持ちの方は観覧料が免除になります。受付で御提示ください。

県立万代島美術館
住所 新潟市中央区万代島5-1 朱鷺メッセ内
万代島ビル5階
TEL:025-290-6655
URL:<https://banbi.pref.niigata.lg.jp/>

●県立歴史博物館(長岡市)

「伝える—災害の記憶 あいおいニッセイ同和損保所蔵災害資料」

同和火災(現あいおいニッセイ同和損保)の廣瀬鉞太郎氏が収集した災害資料は、18世紀から20世紀初頭に日本全国で発生した各種災害をほぼ網羅しています。過去の人々は一体どのように災害を記憶し、伝えようとしたのか。本展ではその様子を、廣瀬コレクションのうち約140点の資料から紹介します。あわせて近世期に新潟県域で発生した災害に関する資料も紹介します。



「鯨を押える鹿島大明神」
安政2(1855)年/あいおいニッセイ同和損害保険株式会社所蔵

- 会 期 開催中～6月4日(日)
- 開館時間 午前9時30分～午後5時
(観覧券の販売は午後4時30分まで)
- 場 所 県立歴史博物館企画展示室
- 休 館 日 月曜日
- 観 覧 料 一般840円、高校・大学生600円、
中学生以下無料

※学校団体でご観覧の場合は、新潟県内の学校は無料です。事前にお申込みください。

県立歴史博物館
住所 長岡市関原町1丁目2247-2
TEL:0258-47-6130
URL:<http://nbz.or.jp/>

※PDFファイルで御覧の方は、下線部(Webページアドレス)をクリックすると、直接該当Webページにジャンプしますので御活用ください。

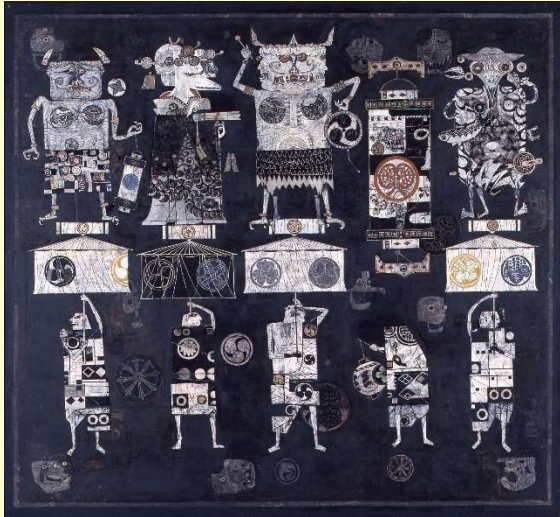
※県ホームページからバックナンバーも御覧いただけます。「新潟県 教育月報」で検索してください。

● 県立近代美術館 (長岡市)

■ 開館30周年記念

望郷の画家 橋本龍美展

— 神も、庶民も、バケモノも



橋本龍美《祭り人》1966年

- 会 期 開催中～6月4日(日)
- 休館日 月曜日 *5月1日は開館
- 開館時間 午前9時～午後5時
(観覧券の販売は午後4時30分まで)
- 観覧料 一般 1,200円 (1,000円)
高校・大学生 1,000円 (800円)
中学生以下 無料

■ 美術鑑賞講座

「橋本龍美の世界 — 神も、庶民も、バケモノも」

橋本龍美の人と作品について詳しくお話しします。
* 申込不要

- 日時: 5月20日(土) 午後2時～午後3時30分
- 講師: 宮下東子(県立近代美術館専門学芸員)

■ 開館30周年記念 コレクション展 第1期
没後50年 横山操展 [展示室1・2・3]

- 会 期 開催中～6月18日(日)
- 観覧料 一般430円 (340円)
高校・大学生200円 (160円) 中学生以下無料

※ () 内は有料20名以上の団体料金です。
※ 障害者手帳をお持ちの方は観覧料が免除になります。受付で御提示ください。

県立近代美術館
住所 長岡市千秋3丁目278-14
TEL: 0258-28-4111
URL: <https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/>

● 県埋蔵文化財センター

令和5年度講演会

「発掘された古代人名録(男性編)」

- 講師: 小林昌二氏(新潟大学名誉教授)
- 期日: 5月14日(日)
- 時間: 午後1時50分～午後3時20分
- 会場: 県埋蔵文化財センター

「発掘された古代人名録(女性編)」

- 講師: 浅井勝利氏(新潟県立歴史博物館)
- 期日: 6月25日(日)
- 時間: 午後1時50分～午後3時20分
- 会場: 県埋蔵文化財センター

※ 参加費無料

※ 定員は会場 80名(当日受付)、オンライン配信 50名(事前申込)

新潟県埋蔵文化財センター
住所 新潟市秋葉区金津93番地1
TEL: 0250-25-3981
FAX: 0250-25-3986
E-mail: niigata@maibun.net
URL: <https://www.maibun.net/>

発行所 新潟県教育庁総務課
所在地 〒950-8570
新潟市中央区新光町4番地1
電話 025-280-5587
FAX 025-285-3766
E-mail nigt500010@pref.niigata.lg.jp
Web版URL:
<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kyoiku/>
本紙に関する御意見がありましたら、お寄せください
<無断転載を禁ず>